

ふるさと教育 取組事例

学校名	吉賀町立六日市中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合	ふるさと学習	吉賀町で働く方々 ふるさとの野菜・くだもの
ねらい		自分で課題を見つけ、探求的に学習し、学習内容を自己の生き方と照らし合わせて考える生徒の育成	

1 取組の概要

3年生は、テーマ「ふるさとの課題を解決しよう」として「ふるさと学習」を行った。

- ①課題と解決案を出す。意見が近い数名でチームを作り、課題解決案を考える。
- ②役場などで働く方から提案に対して意見をもらい、課題解決案をさらに練る。
- ③地域の方々に、プレゼンにて提案する。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

○【プロの方々と打ち合わせ】

各グループでのテーマと、打ち合わせをした専門の方々

テーマ	課題・解決案概要	専門の方
「もったいない」からできること	吉賀町に豊富にある木材を利用して、グッズを作ろう	吉賀町観光協会 齋藤 由美子さん
吉賀町の魅力を伝えよう	吉賀町のお店などのPRをまとめたマップを作ろう	役場産業課 齋藤 慎吾さん
吉賀町活性化計画	空き家バンクを利用して、みんなが集まれるカフェを作りたい	企画課 沖野 敦史さん
不便を減らそう	道路の危険箇所を周知する看板や標識を作りたい	役場 建設水道課 早川 貢一さん
野菜星	吉賀町のおいしい野菜やくだもののでランプを作り、夜空を眺めるイベントをしたい	産業課 齋藤 真央さん

3 児童・生徒に見られた変容

○【主体的な学び】

自分たちが出した課題に対して、自分たちが興味のあることや得意分野でアプローチした。このことで、生徒自身がふるさとの課題に対して主体的に考える姿が見られた。

○【発表のスキル】

自分たちの考えや実践、提案をスライドにまとめて地域に発表した。このことで、スライドを作成する力や、他者に意見を伝えるスキルが身についた。

4 課題や今後の展望

○【仮説からの実践】

今後は、仮説や提案を組んだ後に実践や検証を行いたいと思っている。その実践の結果を受けて、新たな課題を見出すといったサイクルが1年の中でできたら深い学びになると考える。

